



かぜ 東陽の旋風 ～自律協働貢献～

令和6年10月25日(金) No.26 発行
文責：松本 卓也

義務教育9年間を見通した、子どもの「育ち」と「学び」をつなぐために・・・

11月5日(火)、「八代型小中一貫・連携教育」実践校実践発表会を東陽小学校で行います。八代型小中一環・連携教育とは、

子供たちの「生きる力」を育むため、義務教育9年間を見通した小中共通の目標(めざす子供像等)、指導内容及び指導方法等を共有し、中学校区の実態に応じて、小中相互に連携・交流し合いながら、育ちと学びの連続性を図る

ことを目的として、2015年(平成27年)4月から市内全中学校区で導入されています。※東陽中校区は、2013年に東陽小学校の開校に合わせて導入
16日(水)、八代市教育委員会からI指導主事が来校し、東陽小・中が取り組んでいる授業改善(学習リーダーの育成・定着確認の徹底)について参観されました。



子どもたちが主体的に学びを深めていく姿に、I指導主事からは、「パターン化されていて、子どもたちがすべきことをわかっていますね。」等の感想をいただきました。5日(火)の発表では、校種の枠を超えて取り組んできた、東陽っ子の「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した実践を、八代市内外に広く発表できたらと考えております。保護者の皆様からも、ご指導、ご助言をよろしくお願ひいたします。

元気に育て！ ～イチゴの定植～

18日(金)、「生物育成に関する技術」の学習で、2年生がイチゴの苗植えを行いました。この後、肥料や水やり、虫取り等を行い、収穫まで育てていきます。栽培を通して、育成の技術を習得するとともに、社会環境の関わりについても理解してほしいと思います。



君はなぜ働くのか Part3 ～農業体験学習～

22日(火)、1年生が「農業体験学習」を行いました。一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の一環であり、2学年「職場体験学習」、3学年「高校調べ・体験入学」につながるものです。北地区にお住まいのU様のご指導の下、ハウレン草やルッコラの種まきとアリウムの球根の植え付けを行いました。作業の合間には、「農業は自然との闘いです。今年のように雨が降らないと世が大変ですが、頑張った分だけ自分の収入につながります。何より収穫時の喜びは大きいです。地域の田園風景を守るために、一人でも二人でも農業に興味をもってください。」と、U様から貴重なアドバイスをいただきました。お礼の手紙には、「今日、種をまいたルッコラやハウレン草が育つのが楽しみです」等書かれており、農業という仕事の喜びや意義を感じ取ってくれたと思います。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()